

【評価実施概要】

事業所番号	173501271		
法人名	(医) 上田病院		
事業所名	グループホームあいあい		
所在地	〒059 - 0036登別市美園町4丁目23番地9号 (電 話) 0143 - 82 - 6600		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060 - 0061札幌市中央区南1条西5丁目7愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成21年10月14日	評価確定日	平成21年11月3日

【情報提供票より】(平成 21年 9月 7日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 1月 23日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	20 人	常勤 12人, 非常勤8 人,	常勤換算6.8

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2 階建ての	1 ~ 2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷 金	有(45,00 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(10,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 - 退去時清算
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要(9 月 7 日現在)

利用者人数	18 名	男性 6 名	女性 12 名
要介護 1	1名	要介護 2	3名
要介護 3	9名	要介護 4	2名
要介護 5	2名	要支援 2	0名
年齢	平均 84 歳	最低 76 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	上田病院 日鋼記念病院 積信会三村病院 三国ファミリー歯科
---------	-------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは鶯別駅に近く、交通至便な住宅地にある。ホームの前庭の花壇・畑作りは近隣者の応援もあり利用者への楽しみの場となっている。南面に開かれた明るい居間、各居室は採光、換気がよく、その人らしいしつらえと馴染みのある置物・家具等の配置があり、トイレ、浴室、廊下は機能的で合理的に構成・設備されている。運営は職員のバランスのよい職務・人員配置、職員研修は法人の内外の研修機会を設けて資質の向上を図り、職員の意向を聞き円滑な運営に努めている。地域・行政等外部者を含む運営推進会議は業務状況の資料を示して、定例的に実施し、検討課題や意見を議事録にまとめて、業務の改善に活かしている。地域福祉の向上を図る地域との連携ある活動も着実に深めつつある。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	改善すべき事項の指摘は特にはないが、法人全体の医療と福祉の機能的特性を活かした、連携による利用者支援に努めている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員全員が自己評価の必要性を認識して評価に取り組み、検討を加えて作成され、改善に活かすよう努めている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	会議はホームの日常の実績・行事・利用者の事故、会議・研修・地域交流などの資料を提示して、定例的に開催し、関係者の参加を得て協議検討している。なお、結果は報告書を作成して記録にとどめて、改善に活かしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎月の月次報告書を送り、併せて個々の心身の変化や生活等について必要に応じて電話等で対応している。また家族の訪問時には連絡を密にしている。運営推進会議には家族関係者の参加は少ないが、支援上の事故等のデータを示して関係者の意見を運営に活かしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域との交流はホームが地域に支えられ、地域とともに歩むとの考えで、「あいあい便り」を回付し、地域の方へ介護等の相談を促がし、相談を受けるなど地域の行事・催事に参加し、楽しむとともに防災訓練には車椅子持参で参加を予定するなど連携が進みつつある。

2. 評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	住み慣れた地域で継続的な生活を営み、今ある力を維持し、活用して、自分らしい生活を送れるよう、症状が緩和できるよう支援することを目指している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念カードを携帯し、職員一同がともに事業の基本を確認しあって実践できるよう、日々のミーティングやカンファレンス会議で取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	毎月の廃品回収への参加を初め町内会・町の行事・催事に参加し利用者とともに楽しみ、散歩での相互の声の掛け合いやホームの畑作りの参加も得て交流を大切にしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価は職員全員で確かめ、改善のための事項・要因の確認を図るなど、評価を活かすとともに次ぎの取り組みに努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議はおおむね定例的に開催し、ホームの日常の運営事項を統計表に示して会議に提出し、判断や意見を得やすくするよう努めている。包括支援センター・地域関係者の参加を得ている。</p>		<p>家族の参加は難しいことが多いと思われるが、利用者と共に親しむ会議開催の工夫などご検討を期待したい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>ホーム運営に関する行政の関係通知を周知すると共に事業所の立場や利用者の行政関連の支援関係にも留意して利用者のサービスの質的向上に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月次報告書を作成し心身の状況やホームの生活状況を、請求書、ホーム便り掲載の行事等の情報を送り、相互の信頼関係の維持を図ると共に、変化に応じては電話連絡で応急対応をしている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議には家族関係者も構成員だが参加は少ない。訪問時のきめ細かな対応や相談を通して苦情伝達の方法など掲示したり説明をしており、苦情は管理者の下に集約し会議等で周知した対応をしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の変更には可能な限り早急な補充に努めるほか利用者・家族などへの周知して利用者のサービスに支障のないよう努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人全体の基礎的研修計画やホーム独自のテーマ研究の発表の機会、道南ブロックや全道の研修に参加の機会が予定され、職員の資質向上を目指している。また職場内の現任訓練も着実に進めている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>胆振地区の広域連絡会へ参加し、講演会や勉強会等での交流を盛んにして、その情報交換や研修成果を職員と共有して運営やサービスの向上に活かしている。</p>		<p>職員の参加交流の機会を増やしたいとの意向なので、一層の成果を期待したい。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>関係機関と連携の上で、入院中の利用者の心身の状況や家族意向などを話し合い、相談に応じるなど、事前段階からの継続性を大切にしている。また、事前見学の受止めやホームでの生活の様子を感じてもらう場や時間を用意している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>家族からの情報を得て、利用者個々のセンター方式によるアセスメントを確実にすると共に、利用者の生活から学び・気付いた残存能力を遊びや手作りに活かすなど、自立支援と共に支えあう努力を重ねている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>食事の嗜好・入浴の希望、買い物の付き合い、失禁対応のサインなど、その受止め方・タイミングに留意し、捉えながら、側にいて支える姿勢と感性で臨んでいる。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>計画作成者と共に担当者会議での協議検討を進め、家族の意向を含め個々の状況に応じた定時的計画の作成と職員間の情報共有に努めている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>個々の介護期間の定時見直し、変化に応じた緊急時の見直しを行っている。担当者は個々に月次報告書を作成して家族に送付しているが、6ヵ月ごとに担当者を替えて対応するなど、常に新たな目での観察と支援対応の工夫をしている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>外出・外泊時の心身の状況説明や服薬の準備支援、医療法人ならではの必要に応じた看護師や医師の直接的・即応的・緊急的対応の支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>看護師の常勤制の下で、係わる医師との関係を確かにすると共に、月数回の健康相談の来所があり、健康管理と医療活用支援を行っている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入所時に説明をして、1ヵ月後には看取りに関する指針に基づいて覚書を交わし、重度化や終末期の方針を職員・家族共に共有するようにしている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者へのことばかけには最も留意して、あい手を損なうことなく、個々の意向を受止め、豊かな気付きができるよう努力している。個人記録・個人情報の維持管理も適切である。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者本位の姿勢を基本としつつ、個々の生活のリズムやテンポを大切に、時に模索しながら利用者の意向を大切にする支援に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理時には個々の心身の状況に応じながら皮むき、皿拭き、時に職員の調理を見学してもらうなど食事の楽しみを共にする場作りや買い物のお手伝いを兼ねて共に外出するなどの工夫を重ねている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回の最低入浴を勧めている。特に、時間は定めなく、出来るだけ自由で本人の意向に合わせて楽しい入浴支援対応をしているが日中利用が多い。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	男性は雪かき・畑仕事・掃除、女性は洗濯物の片付けや料理の手伝いなど、かつての手配の活用などの組み合わせ、楽しみごとも個々の趣味・嗜好に合わせた支援に努めている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	前庭に出てお茶を飲みながらの外気に当たる機会や個人的な状況に合わせた散歩や買い物などで、外へ出る機会を奨めるなど工夫をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけないケアを基本姿勢としているが、外出の心配頻度が高い利用者がいて、家族と協議して1階玄関先の日中施錠をしている。		施錠によって、他の利用者の安定度から閉塞感を与えない工夫を努めておられるので、さらなる個別的対応も含めホームへの馴染みや安定化のご努力を期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練に実施時には職員全員の参加の下に行い訓練の実感を共有すると共に、夜間帯想定訓練には地元の町内会へ働きかけ参加を得ている。地元との防災対応について相互の役割関係が出来ている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員は献立内容を把握し、栄養摂取量を日々記録・確認して、個々の嗜好・心身の状況に合せたバランスのよい食事状況や水分補給状況の把握に努めている。変化への対応は看護師等に連絡の上、指示を受けるなど連携を図っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	採光・温度・湿気・換気・騒音・臭気などに留意すると共に浴室・トイレなど個々の利用者への配慮が行き届いている。展示物も旅行や行事参加の写真、近隣の小学生の作品など思い出深いもの、利用者の作品を豊かに展示している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームは個々のなじみのものを用い、取り入れるよう奨めている。各居室は様々だが、夫々なじみの家具・置物等が配置されている。		

 は、重点項目。